

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告書

大学生の生活満足度と人間関係

2010年2月

情報学部広報学科3年 木村祐介

目 次

第1章 研究の概要	
1.1 研究の背景と目的	・・・2
1.2 研究方法	・・・2
(1) 進捗経緯	・・・2
(2) 調査の概要	・・・2
1.3 成果の概要	・・・3
第2章 研究の成果	・・・4
2.1 回答者の概要	・・・4
2.2 学生の生活満足度	・・・5
2.3 人間関係	・・・6
2.3.1 アルバイト先	・・・6
2.3.2 サークル・部活動関係	・・・6
2.3.3 恋人	・・・7
2.3.4 友人	・・・8
2.3.5 家族	・・・9
2.4 金銭的余裕	・・・10
2.5 大学生活状況	・・・11
2.5.1 進級・卒業見通し	・・・11
2.5.2 学習満足度	・・・12
2.6 時間的余裕	・・・13
2.7 性格	・・・13
2.8 将来の見通し	・・・14
2.9 予定の多寡状況	・・・15
2.10 人間関係の考え方	・・・15
(1) アルバイト先人間関係重視度	・・・16
(2) サークル・部活人間関係重視度	・・・16
(3) 友人関係重視度	・・・17
補足 生活満足度グループ別のストレス・悩み	・・・18
生活満足度を上げるために充実させたい事柄	・・・18
第3章 まとめと今後の課題	・・・20
3.1 調査のまとめ	・・・20
3.2 今後の課題	・・・21
参考文献リスト	・・・22
資料 単純集計結果	・・・23

第1章 研究の概要

1.1 研究の背景と目的

現代の暮らしは便利になり、生活の満足度は高くなっているのではないかと考えられる。学生達は今の暮らしにどの程度満足感をもっているのか。そして、生活の満足度はどのようなことに影響を受け、決まってくるのか。私たちの周りにある生活心理に影響する要因を項目別に分け、生活の満足度との関連を検証していきたい。

その中でも特に、人間関係の事柄が生活の満足度に大きな影響を与えているのではないかと考え、この調査を立案した。学生の人間関係を構造的に分け、それぞれが生活の満足度と関連があるのかを検証したい。

その他に、金銭的な余裕、学業、時間的な余裕、人間関係の考え方などが、生活の満足度を左右する要因となっているのを検証していく。生活の満足度はどのような事に影響を受けて決まってくるのか、それが分かることによって、私たちの生活において、満足感を高くもって暮していくにはどのようにしたらよいのかを見つけることを調査の目標として、この調査を実施した。

1.2 研究の方法

(1) 進捗経緯

4～7月 研究テーマ討論

8～9月 研究テーマ決定、調査票作成

10月 調査票完成 配布～回収

11月 集計、単純集計結果報告

12～1月 研究結果報告

(2) 調査の概要

(a) 調査の意図

- ・学生の生活満足度を調査する。
- ・学生の生活満足度は、どのような事柄に影響を受け、決まるのか検証する。
- ・人間関係を構造的に分け、生活満足度とどのように関わっているか検証する。
- ・生活心理に影響する要因を項目別に分け、生活の満足度との関連を検証する。
- ・どのような学生が生活の満足度が高いのかを明らかにする。

(b) 調査対象者

- ・文教大学湘南校舎に在籍する1～4年生

(c) 調査方法

- ・アンケート調査。
- ・調査票を授業内で配布・回収し、集計をおこなった。なお、授業の担当教授には、事前に了承を得た。

調査実施授業：

平成21年11月10日(火曜日)	2時限目・プロモーションデザイン論	回収数62
同年 11月10日(火曜日)	4時限目・出版論	回収数43
同年 11月12日(木曜日)	1時限目・コンピュータと通信	回収数30

配布数：135

回収数：135 うち無効票：2（全授業計）

1.3 成果の概要

次の2つの方法によって、学生生活満足度とそれを左右する要因の関係を検証した。

まず学生の生活の満足度を5段階で調査し、その調査データから回答者を満足層、中間層、不満層の3グループに分ける。次にグループ別の集計の傾向を調べ(クロス集計)、2乗検定の傾向を利用して、人間関係や経済関係、時間・余暇関係などの他の様々な調査項目との関連性を検証した。ここでは有意差が強く現れるほど、関連性が強いと見ることが出来る。

2番目は、生活満足度と他の調査項目の相関係数を利用して、関連性の強さを検証することである。

この2つの面から、調査結果を整理し、その結果次のことが分かった。

将来の見通しが明るいことは生活の満足度を高める。

予定が詰まっている状況は生活の満足度を高める。

恋人との良好な関係は生活の満足度を高める。

大学の良好な学習成果は生活の満足度を高める。

積極的な性格は生活の満足度を高める。

現在の良好な人間関係よりも、ポリシーとして友人を大切に考えることが生活の満足度を高める。

金銭的余裕や時間的余裕は、上記の ~ ほどには生活の満足度を高めるわけではない。

まず、学生の生活満足度であるから、「将来の見通しが明るい」、「大学の学習成果が良好」であることが、満足度と関係すると言うことは、想像がつくことである。次に意外なのは、「金銭的余裕」や「時間的余裕」が生活満足度を高めるようには効いていないことである。むしろ逆に、「予定が詰まって忙しい人」の方が、生活満足度は高いことである。「したいことをより多くしている」というように考えれば、納得の行くことである。

最後に意外だったのが、事実関係よりも、その人のポリシーや性格の方がより強く生活満足度と関係している、と言う点である。「積極的な性格」、「友人を大切に作る心がけ」が該当する。これは学生の努力目標として、再考すべきことである。

これらの点は第2章で詳述した。第2章を読んで頂きたい。

第2章 研究の成果

2.1 調査回答者の概要

調査は文教大学湘南校舎の、プロモーションデザイン論、出版論、コンピュータと通信の講義に出席していた学生1～4年生の協力を得て行った。

なお回答標本は無作為抽出で作成してはいないために、母集団から見て標本に偏りが生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。

表2-1-1の学年別の分布では、1年15.0%(20人)、2年28.6%(38人)、3年44.4%(59人)、4年9.8%(13人)となっている。母集団と比べると3年生の割合が高い。

また表2-1-2の性別の分布では、男子39.1%(52人)、女子58.6%(78人)となっている。母集団と比べると女子の割合が高い。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかしクロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
回答者	15.0 (20)	28.6 (38)	44.4 (59)	9.8 (13)	2.3 (3)	100.0 (133)
湘南キャンパス学生	27.3 (941)	27.1 (934)	22.0 (760)	23.6 (812)		100.0 (3447)

(注)母集団は湘南キャンパス 2009.09 末時点である。

	男子	女子	無回答	計
回答者	39.1 (52)	58.6 (78)	2.3 (3)	100.0 (133)
湘南キャンパス学生	51.8 (1786)	48.2 (1661)		100.0 (3447)

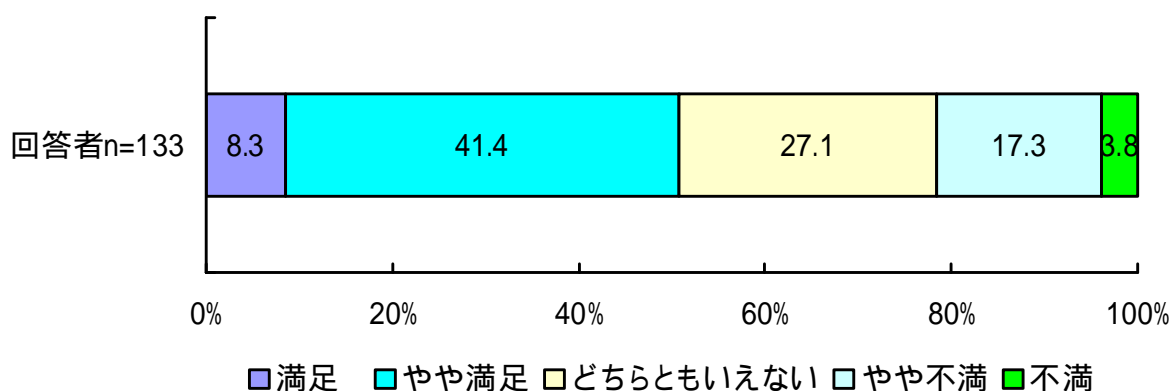
(注)母集団は湘南キャンパス 2009.09 末時点である。

2.2 学生の生活満足度

ここでは回答者の生活満足度の調査結果を見ていく。さらに今後の集計分析の方法について説明する。

「あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか」という設問に、「満足」～「不満」まで5段階で回答してもらい、学生の生活満足度を調査した。その結果が図2-2-1である。

図2-2-1 生活満足度



最も多かった回答は、「やや満足」で約41%であった。次に「どちらともいえない」が約27%、「やや不満」が約17%と続き、一番少なかった回答は「不満」の約4%であった。

「満足」、「やや満足」と回答した満足層が全体の約50%、中間層は約27%、「やや不満」、「不満」と回答した不満層は約21%という結果であった。

そこで以降からは生活満足度と他の調査項目との関係を、以下の2つの方法で見ていくこととした。

(1) クロス集計

図2-2-1の生活満足度の結果から、満足・やや満足層67名、中間層36名、不満・やや不満層28名の3つのグループを作り、このグループ毎に集計を行う。生活満足度に与える影響が大きい項目の場合、クロス集計結果は2乗検定では有意差を生じる。そこでグラフとともに有意確率pの値を目安とする。pが小さい程に、生活満足度と他の調査項目の関連が強く、影響が大きい項目とする。

(2) 相関係数

生活満足度と他の調査項目の調査結果との相関係数を求める。これから関連の強さ=影響の度合いを見ていく。

2.3 人間関係

ここでは、回答者の人間関係の良好度合いと、生活満足度について関係を見ていく。人間関係を「アルバイト先」、「サークル・部活動関係」、「恋人」、「友人」、「家族」に分け、生活満足度3グループ別にそれぞれの人間関係がどのようなものであるか検証する。

2.3.1 アルバイト先

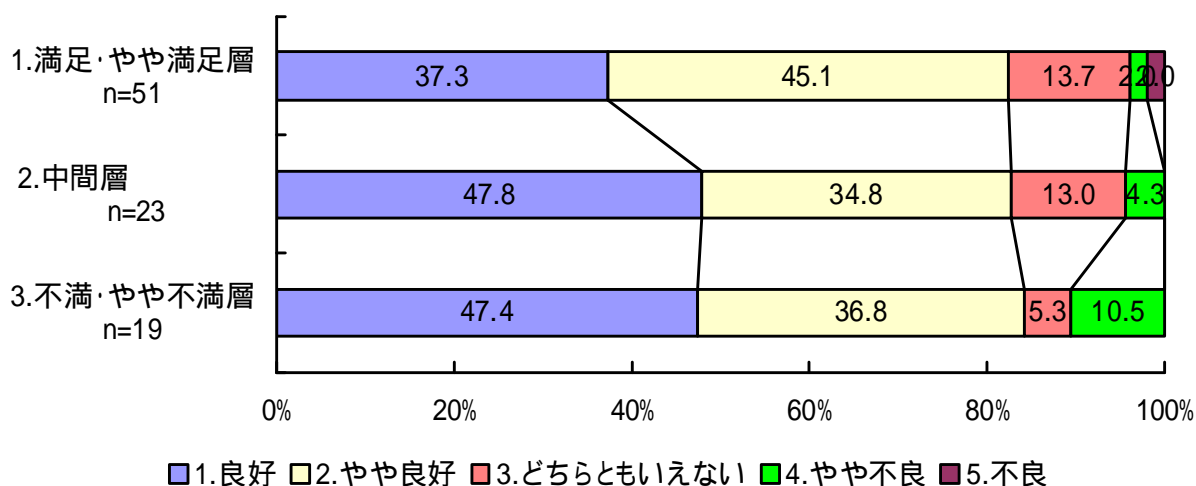
生活の満足度3区別に、アルバイト先の人間関係がどのようなか見ていく。「アルバイト先の人間関係についてはいかがですか」という設問に、「うまくいっている」～「うまくいっていない」まで5段階で回答してもらい、生活の満足度3区別に集計したのが下記グラフである。

生活の満足度3区分のどのグループでも、アルバイト先の人間関係は「良好・やや良好」が最も多い結果となり、満足層は約82%、中間層は約83%、不満層では約84%であった。

「どちらともいえない」という回答は、満足層では約14%、中間層では約13%、不満層では約5%であった。「不良・やや不良」という回答は、満足層、中間層では約4%、不満層では約11%であった。

どのグループもアルバイト先の人間関係はおおむね良好といえるようで、差はない。生活の満足度とアルバイト先の人間関係について、グループ間の²検定では $p = 0.724$ で有意差はなく、相関係数は 0.022 である。従ってアルバイト先の人間関係の状態が生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

図2-3-1 生活満足度とアルバイト先人間関係
(²乗: $p=0.740$)

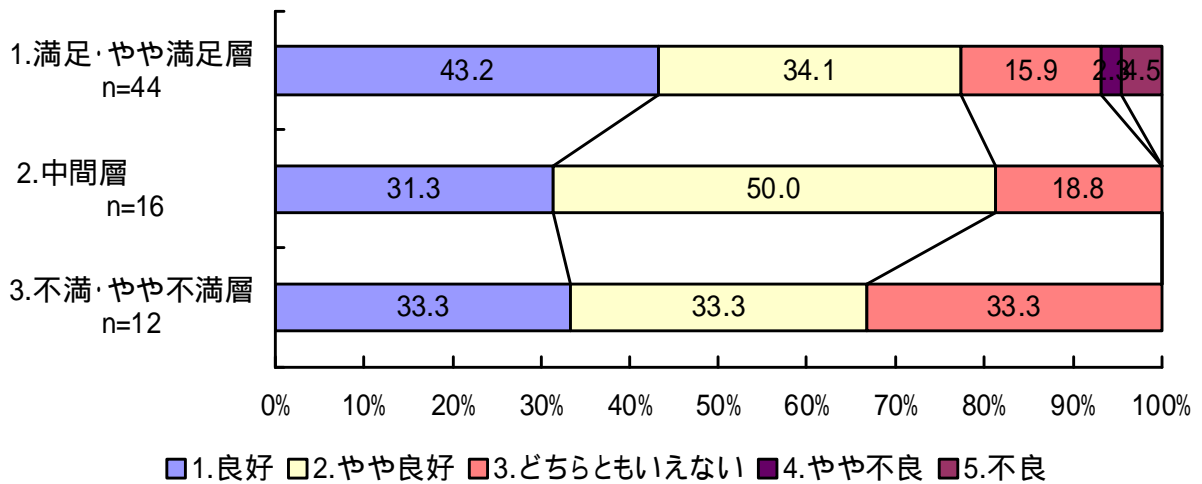


2.3.2 サークル・部活関係

次にサークル・部活動の人間関係と生活満足度との関係について見ていく。

回答者には「サークルや部活動の人間関係についてはいかがですか」という設問に、「うまくいっている」～「うまくいっていない」までの5段階で回答してもらった。その結果を、生活の満足度3区別に集計したのが下記グラフ図2-3-2である。

図2-3-2 生活満足度とサークル・部活人間関係
(χ^2 検定: $p=0.780$)



生活の満足度3区分のどの層でも、サークル・部活動の人間関係について「良好・やや良好」という回答が最も多く、満足層では約77%、中間層では約81%、不満層では約67%という結果であった。

「どちらともいえない」という回答は、満足層では約16%、中間層では約19%、不満層では約33%であった。

「不良・やや不良」という回答は、満足層では約7%、中間層、不満層では0%であった。

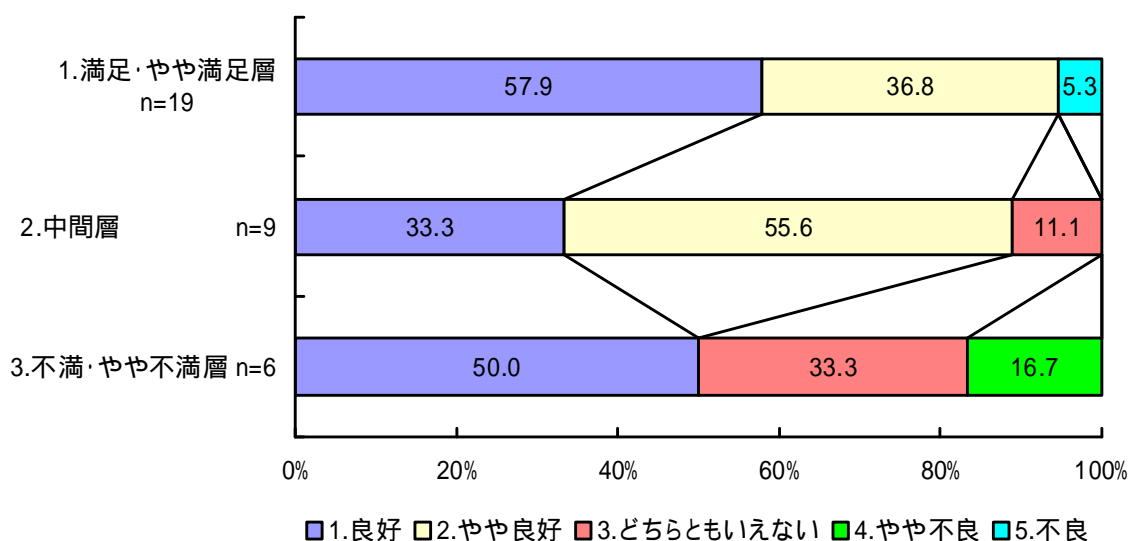
どのグループも、サークル・部活動の人間関係はおおむね良好といえるようで、差はない。生活の満足度とサークル・部活動の人間関係について、グループ間の χ^2 検定では $p=0.780$ で有意差はなく、相関係数は0.058である。従ってサークル・部活動の人間関係の状態が生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

2.3.3 恋人

次に、恋人との関係と生活満足度について見ていく。

回答者には「恋人との関係についてはいかがですか」という設問に、「順調である」～「不調である」までの5段階で回答してもらった。その結果を、生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-3-3である

図2-3-3 生活満足度と恋人との関係
(χ^2 : p=0.056)



生活の満足度3区分のどの層でも、恋人との関係について「順調・やや順調」という回答が最も多く、満足層では約95%、中間層では約90%、不満層では約50%という結果であった。

「どちらともいえない」という回答は、満足層では約0%、中間層では約11%、不満層では約33%であった。

「不調・やや不調」という回答は、満足層では約5%、中間層では0%、不満層では約17%であった。

生活の満足度が低くなるにつれて、恋人との関係も「順調・やや順調」という回答が減少し、不満層では、「どちらともいえない」、「不調・やや不調」という回答が増加した。

恋人との関係が順調なほど生活の満足度の高いようである。

生活の満足度と恋人との関係について、グループ間の χ^2 検定では $p = 0.056$ で有意差に近い状態であり、有意差があるとみる。相関係数は0.337である。

χ^2 検定では有意差はみられなかったが、恋人との関係は、生活の満足度を左右する要因の1つといえる。

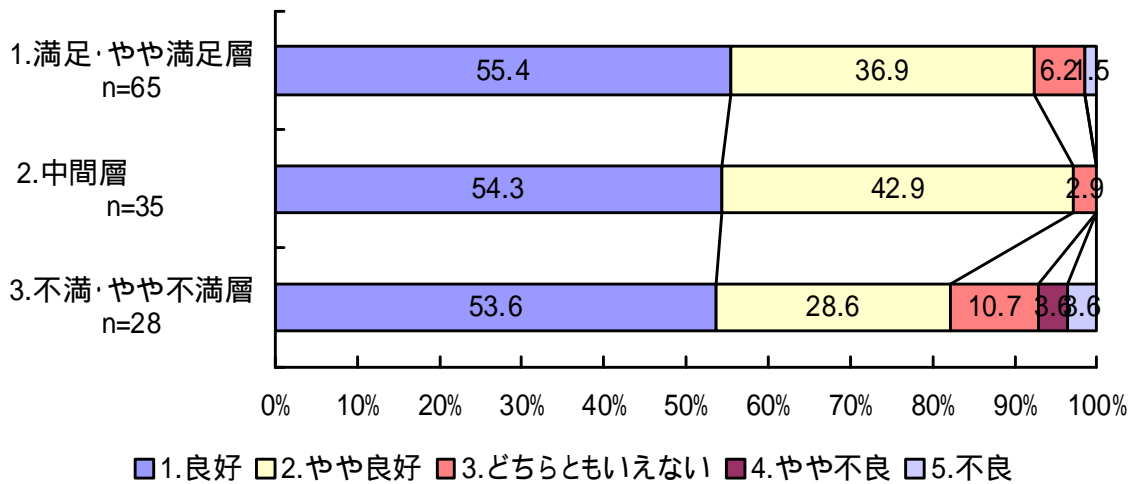
2.3.4 友人

次に、友人との関係と生活満足度の関係について見ていく。

回答者には「友人との関係についてはいかがですか」という設問に、「うまくいっている」～「うまくいっていない」までの5段階で回答してもらった。

その結果を、生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-3-4である。

図2-3-4 生活満足度と友人との関係
(χ^2 検定: $p=0.509$)



生活の満足度3区分のどのグループでも、友人との関係について「良好」という回答が最も多く、満足層では約55%、中間層では約54%、不満層では約54%という結果であった。

「どちらともいえない」という回答は、満足層では約6%、中間層では約3%、不満層では約11%であった。「不良」という回答は、満足層では約2%、中間層では0%、不満層では7%であった。

どのグループも、友人との関係はおおむね良好といえるようで、差はない。

生活満足度と友人との関係について、グループ間の χ^2 検定では $p = 0.509$ で有意差はなく、相関係数は 0.140 である。従って、友人との関係状態が生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

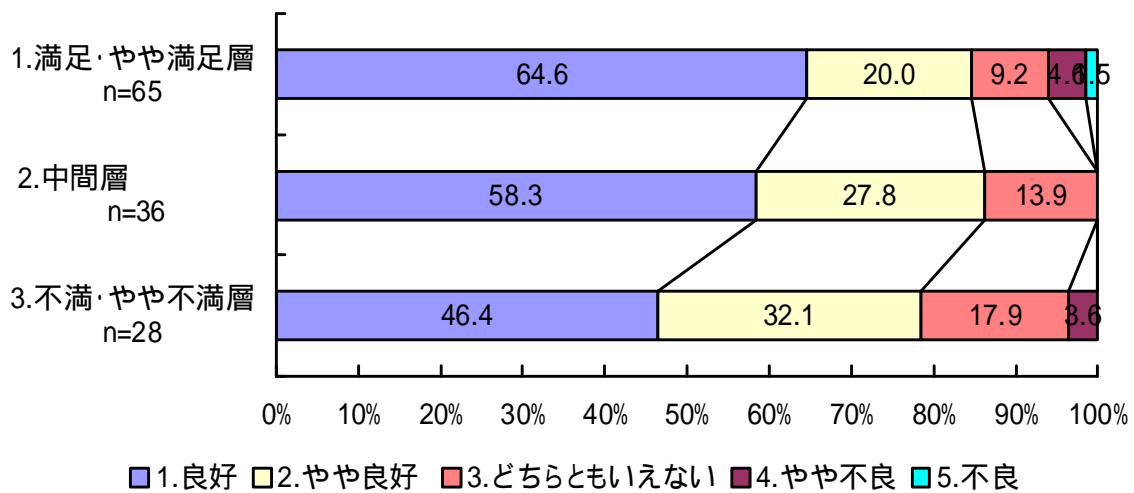
2.3.5 家族

次に、家族との関係と生活満足度について見ていく。

回答者には「家族との関係についてはいかがですか」という設問に、「うまくいっている」～「うまくいっていない」までの5段階で回答してもらった。

その結果を、生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-3-5である。

図2-3-5 生活満足度と家族との関係
(χ^2 : p=0.613)



生活の満足度3区分のどのグループでも、家族との関係について「良好」という回答が最も多く、満足層では約65%、中間層では約58%、不満層では約46%という結果であった。

「どちらともいえない」という回答は、満足層では約9%、中間層では約14%、不満層では約18%であった。

「不良」という回答は、満足層では約6%、中間層では0%、不満層では4%であった。

どのグループも、家族との関係はおおむね良好といえるようで、差はない。

生活の満足度と家族との関係について、グループ間の χ^2 検定では $p = 0.613$ で有意差はなく、相関係数は 0.140 である。従って、家族との関係状態が生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

2.4 金銭的余裕

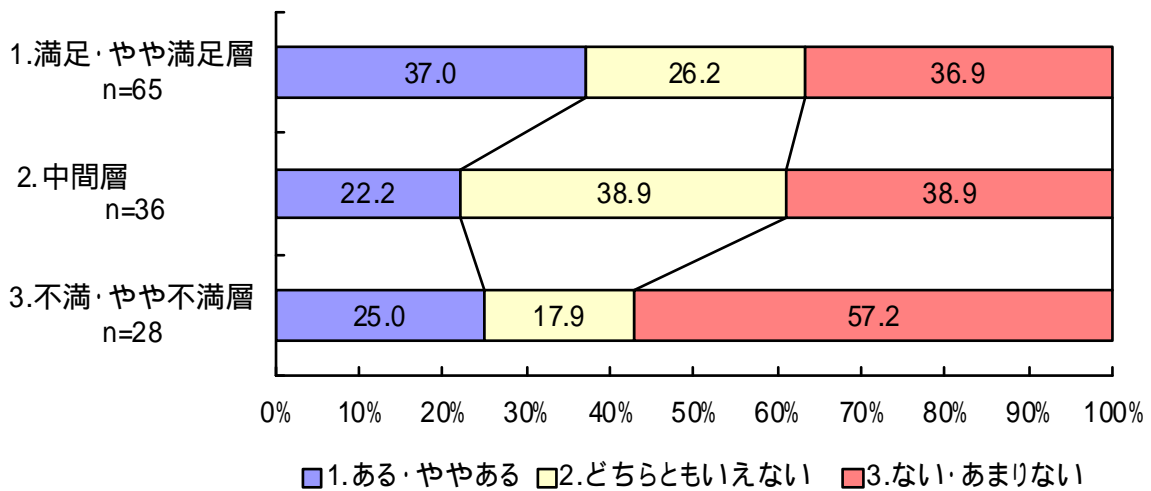
2.4.1 生活費余裕

ここでは金銭的余裕が、生活満足度をどの程度左右する要因であるか検証したい。

「あなたは生活において、金銭的余裕がある方だと思いますか」という設問に「ある方だ」～「ない方だ」まで5段階で回答してもらった。

その結果を生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-4-1である。金銭的余裕が、「ある・ややある」という回答は、生活の満足度の高い満足層が約37%、中間層は約22%、不満層は約25%であった。「どちらともいえない」は、満足層が約26%、中間層は約39%、不満層は約18%であった。「ない・あまりない」は、満足層が約25%、中間層は約18%、不満層は約57%であった。

図2-4-1 生活満足度と金銭的余裕
(χ^2 検定:p=0.369)



生活の満足度と金銭的余裕について、3グループ間の χ^2 検定では $p = 0.369$ で有意差はみられなかった。相関係数は 0.181 である。従って、金銭的余裕が、生活満足度に影響を与える可能性は小さいと考えられる。

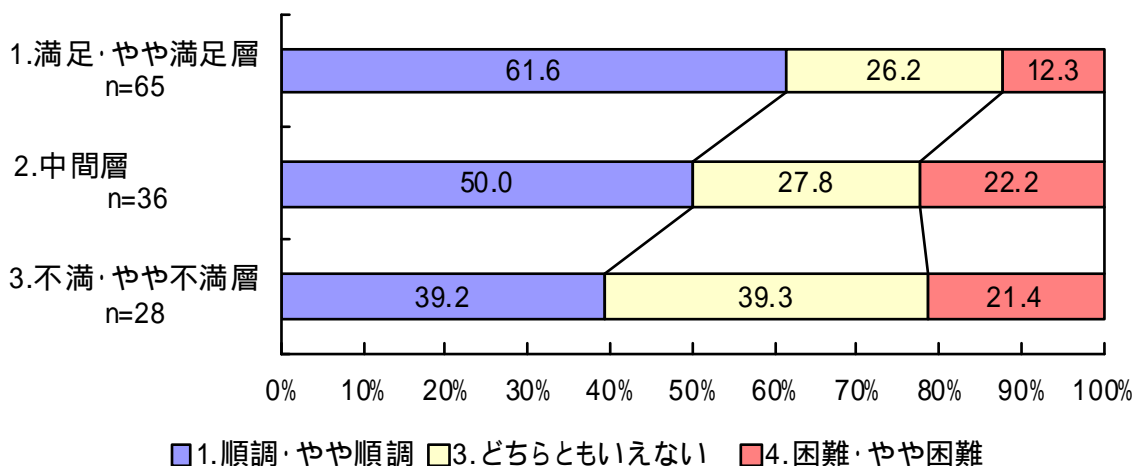
2.5 大学生活状況

ここでは、学生の学業についての状況と生活満足度の関係についてみていきたい。

2.5.1 進級・卒業見通し

大学の進級・卒業についての見通しを、「あなたは大学の進級・卒業について、見通しはいかがですか」という設問に、「順調である」～「困難である」まで5段階で回答してもらった。その結果を、生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-5-1である。

図2-5-1 生活満足度と卒業・進級見通し
(χ^2 検定:p=0.109)



進級・卒業の見通しを「順調・やや順調」と回答した人は、満足層では、約62%で最も多かった。中間層では、約50%、不満層では約39%であった。

「どちらともいえない」は、満足層が約26%、中間層では約28%、不満層では約39%であった。「困難・やや困難」は、満足層が約12%、中間層は約22%、不満層は約21%であった。生活の満足度が低くなるにつれ、「順調・やや順調」という回答が段々と減少していく結果となった。

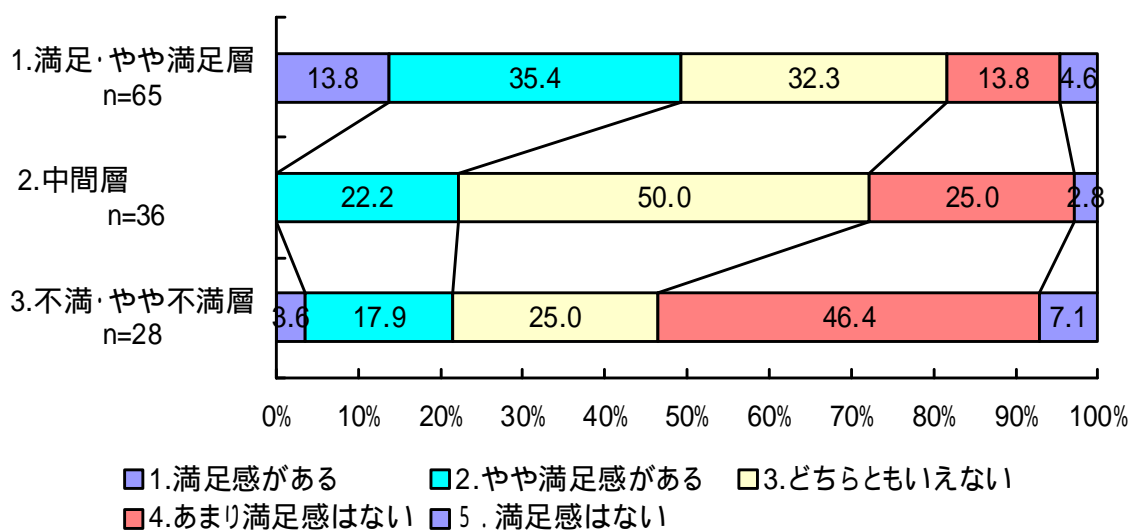
大学の進級・卒業の見通しと生活の満足度について3グループ間の2乗検定では $p = 0.109$ で有意差は見られなかった。相関係数は0.158である。従って、卒業・進級の見通しが生活の満足度に影響を与える可能性は小さいと考えられる。

2.5.2 学習満足度

次に、大学で学んだ事の満足感と生活満足度の関係を見ていく。

「あなたは、今までに大学で学んだ事について、満足感はいかがですか」という設問に「満足感がある」～「満足感はない」まで5段階で回答してもらい、学業の充実度合いを調査した。結果を生活満足度のグループ別に集計し、学業の充実と生活満足度がどのような関係にあるか検証する。集計したグラフが下記の図2-5-2である。

図2-5-2 生活満足度と大学で学んだ事についての満足感(2乗:
 $p=0.005$)



生活満足度の高い、満足層では、大学で学んだ事についての満足感も「満足感がある」「やや満足感がある」と回答した人が約49%であった。中間層になると、学んだ事についての満足感があると回答した割合は減少し、「どちらともいえない」が約50%となった。不満層では、「あまり満足感はない」が約46%と増加し、「満足感はない」と回答した人も3グループ中最も多かった。

生活満足度と大学で学んだ事についての満足感について、グループ間の2乗検定では $p = 0.005$ で有意差がみられた。相関係数は0.302である。従って、大学で学んだ事についての満足度が生活満足度に影響を与える要因の1つといえる。

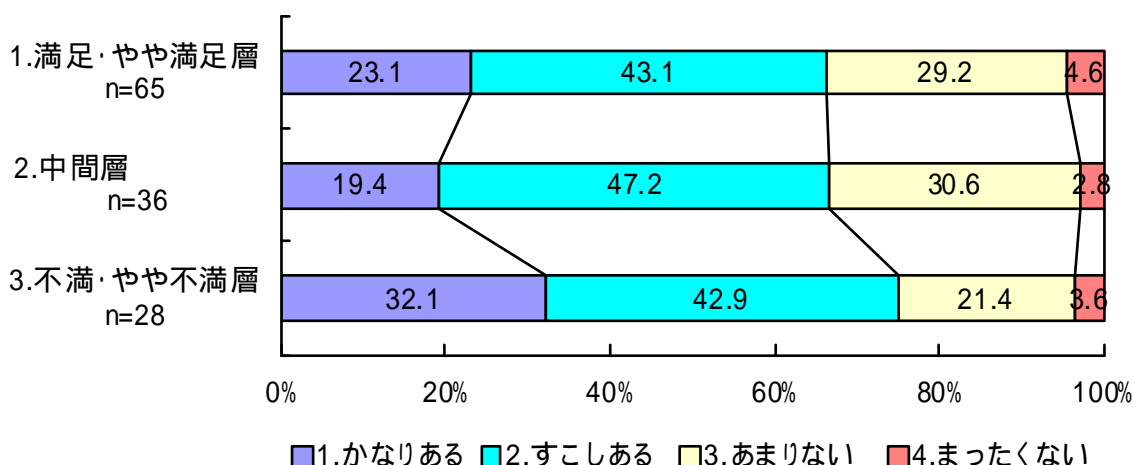
2.6 時間的余裕

2.6.1 生活時間余裕

ここでは、時間的な余裕が、生活の満足度に影響を与える要因であるか見ていきたい。

「あなたの生活で時間的余裕はどの程度ありますか」という設問に、「かなりある」～「まったくない」まで4段階で回答してもらった。結果を生活の満足度3区分別に集計したのが下記グラフ図2-6-1である。

図2-6-1 生活満足度と生活時間余裕
(χ^2 検定: $p=0.922$)



生活の時間的余裕は「すこしある」という回答が3グループ全てで最も多い結果であった。不満層では、「かなりある」という回答が3グループ中最も多かった。

3グループ間で似たような傾向の結果が表れた。

生活時間の余裕と、生活の満足度について3グループ間の χ^2 検定では $p = 0.922$ で有意差はみられなかった。相関係数は -0.048 である。従って、時間的な余裕が生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

2.7 性格による生活満足度の違い

ここでは、学生の性格によって、生活満足度にどのような違いがでるのか検証したい。

「あなたの性格について、あてはまるのはどれですか」という設問に、「積極的」～「消極的」までの4段階で回答してもらった。その結果を、生活の満足度別に集計したグラフが図2-7-1である。

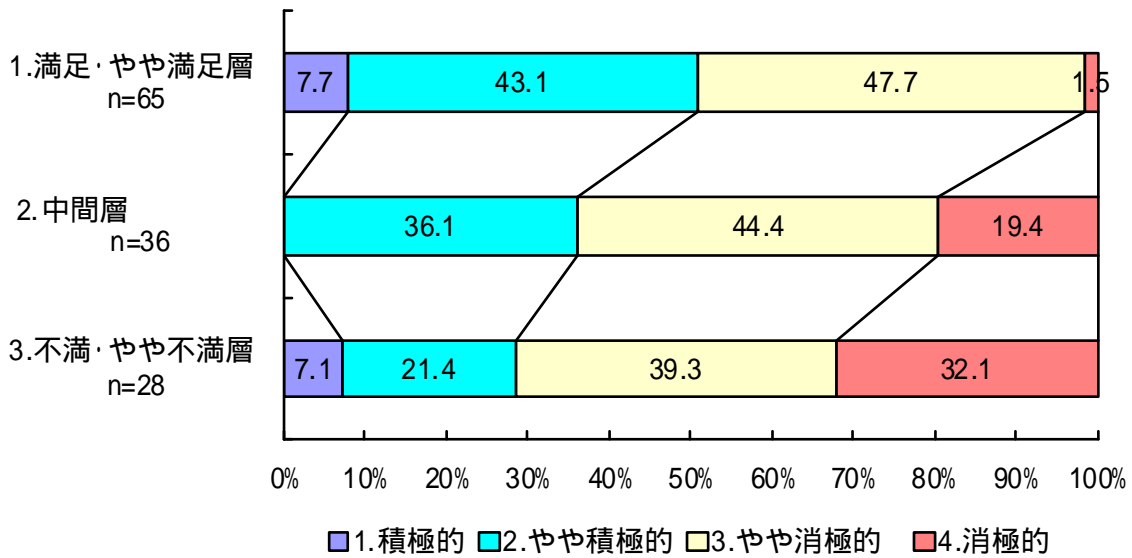
生活満足度の高い、満足層では「やや消極的」と回答した人は約48%で、次に「やや積極的」と回答した人が約43%であった。

中間層では、「やや積極的」は約36%となり、「消極的」が約19%と増加した。

不満層では、「やや積極的」は約21%となり、「消極的」が約32%と3グループ中最も多い結果となった。

生活の満足度と性格について3グループ間の χ^2 検定では $p = 0.002$ で有意差がみられた。相関係数は 0.307 である。従って積極的な性格の人ほど、生活の満足度も高いといえる。

図2-7-1 生活満足度と性格の積極性 (2乗 : p=0.002)

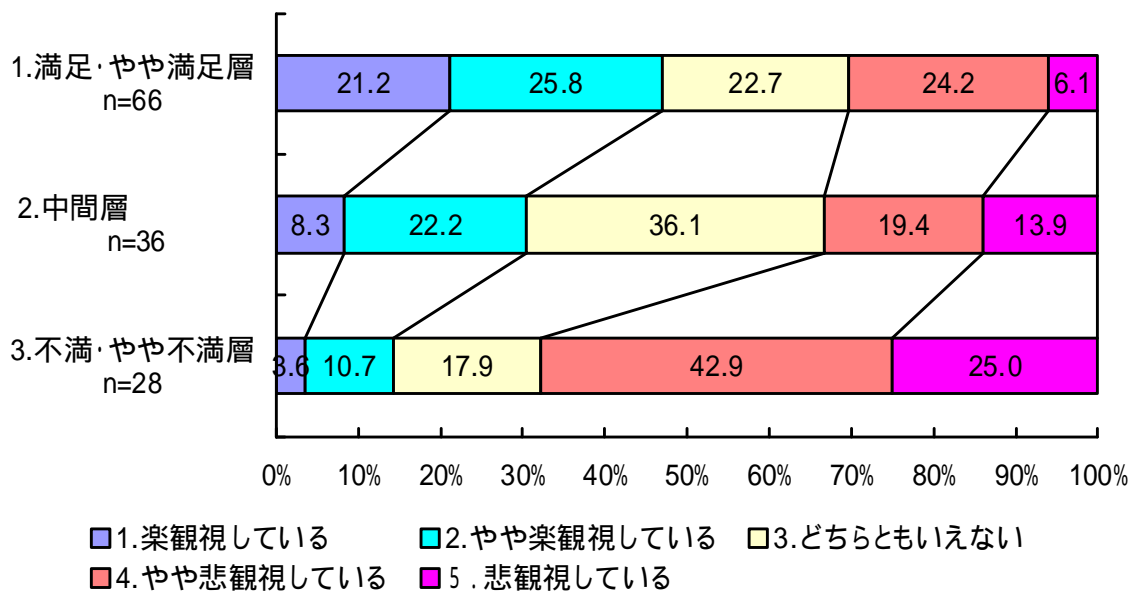


2.8 生活の満足度と将来の見通し

ここでは、生活満足度の3グループ間で、将来への見通しにどのような違いがあるのかを検証したい。

「あなたの将来への見通しはいかがですか」という設問に、「楽観視している」～「悲観視している」まで、5段階で回答してもらい、生活の満足度別に集計したものが図2-8-1である。

図2-8-1 生活満足度と将来の見通し (2乗 : p=0.013)



生活の満足度が高い満足層では、「やや楽観視している」が最も多く約26%となった。次に「やや悲観視」している、が約24%であった。

中間層では、「どちらともいえない」が約36%で、「やや楽観視している」は約22%であった。

不満層では、「やや悲観視している」が約43%で最も多く、「悲観視している」が約25%であった。

生活の満足度と将来についての見通しには3グループ間の 2乗検定では $p = 0.013$ で有意差がみられ、相関係数は0.371である。

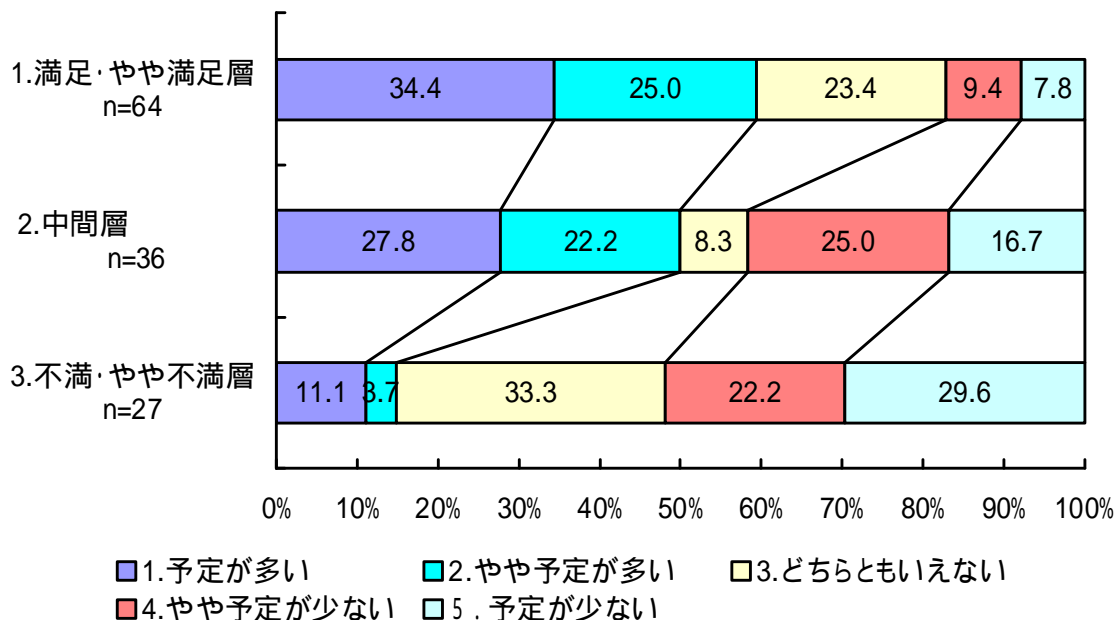
生活の満足度が低い人ほど、将来に対して悲観的になっているといえる。

2.9 生活満足度と予定の多寡

ここでは、予定の多寡状況と生活満足度の関係を検証したい。

「予定が何も無い日は少ない」という設問に、「あてはまる」～「あてはまらない」まで、5段階で回答してもらった。その結果を、生活の満足度別に集計したものが図2-9-1である。

図2-9-1 生活満足度と予定の多寡
(2乗: $p=0.003$)



生活満足度の高い満足層では、「予定が多い」と回答した人が、約34%であった。次に「やや予定が多い」が約25%と続き、「予定が少ない」は約8%であった。

中間層では、「予定が多い」は約28%となり、「やや予定が少ない」が約25%となった。

不満層では、「どちらともいえない」が約33%となり、「予定が少ない」は約30%となった。

生活の満足度と、予定の多寡について3グループ間の 2乗値検定では $p = 0.003$ で有意差がみられた。相関係数は0.344である。従って、予定が詰まっている人ほど、生活の満足度が高いといえる。

2.10 人間関係の考え方

ここでは生活の満足度3グループ間で人間関係の考え方に違いがあるのかを見ていきたい。

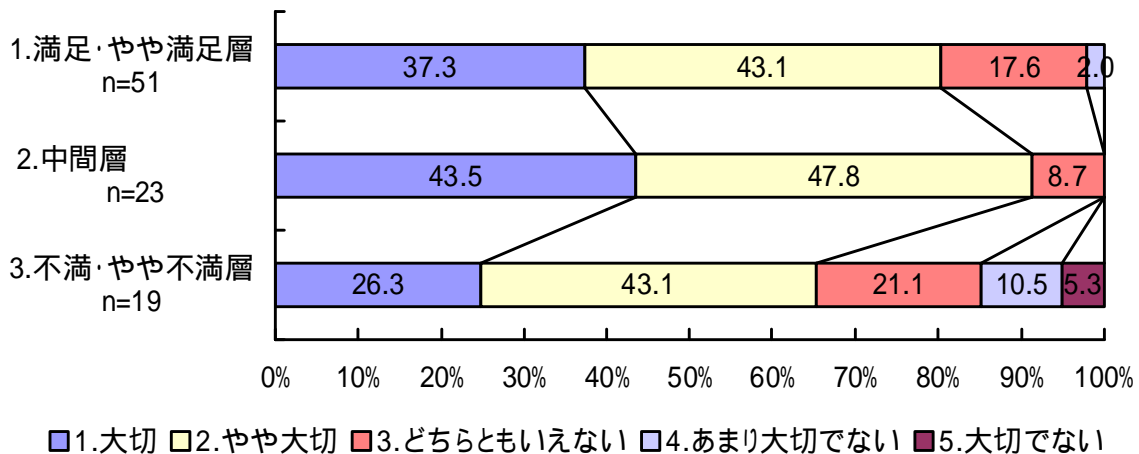
「アルバイト先」、「サークル・部活関係」、「友人」の3つの項目で、それぞれの人間関係がど

の程度大切であるか回答を得た。その結果を生活満足度3グループ別に集計し、傾向を調べる。

(1) アルバイト先

生活満足度3グループ別のアルバイト先人間関係の重要視度合いを見ていく。アルバイト先人間関係の重視度合いを「大切」～「大切でない」まで5段階で回答してもらい、結果を生活満足度3グループ別に集計した図が下記の図2-10-1である。

図2-10-1 生活満足度とアルバイト先人間関係重視度
(2乗:p=0.243)

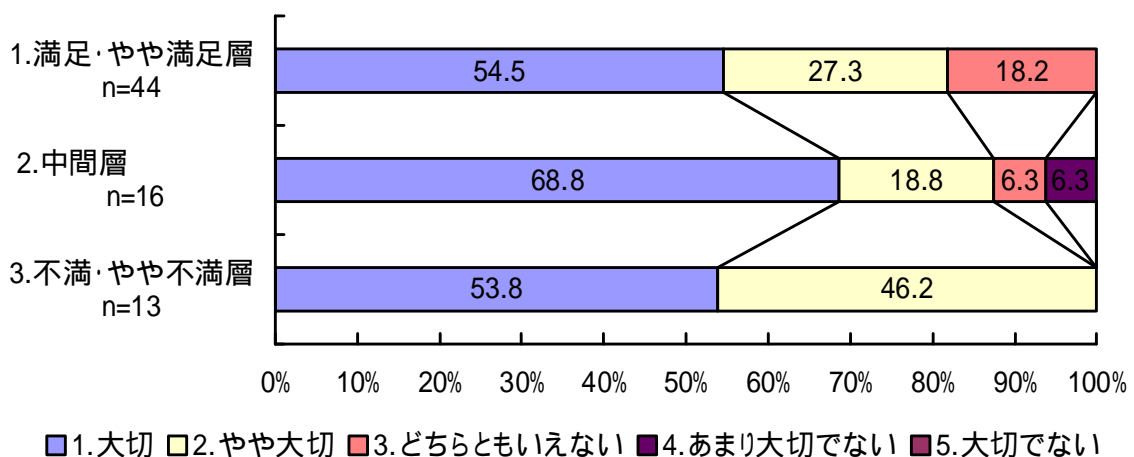


生活満足度とアルバイト先人間関係重視度について3グループ間の 2乗検定では $p = 0.243$ であり有意差はみられなかった。相関係数は 0.180 である。従ってアルバイト先の人間関係の重要視度合いが生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる。

(2) サークル・部活関係

次に、生活満足度3グループ別のサークル・部活人間関係の重要視度合いを見ていく。サークル・部活人間関係の重視度合いを「大切」～「大切でない」まで5段階で回答してもらい、結果を生活満足度3グループ別に集計した図が下記の図2-10-2である。

図2-10-2 生活満足度とサークル・部活人間関係重視度
(2乗:p=0.159)

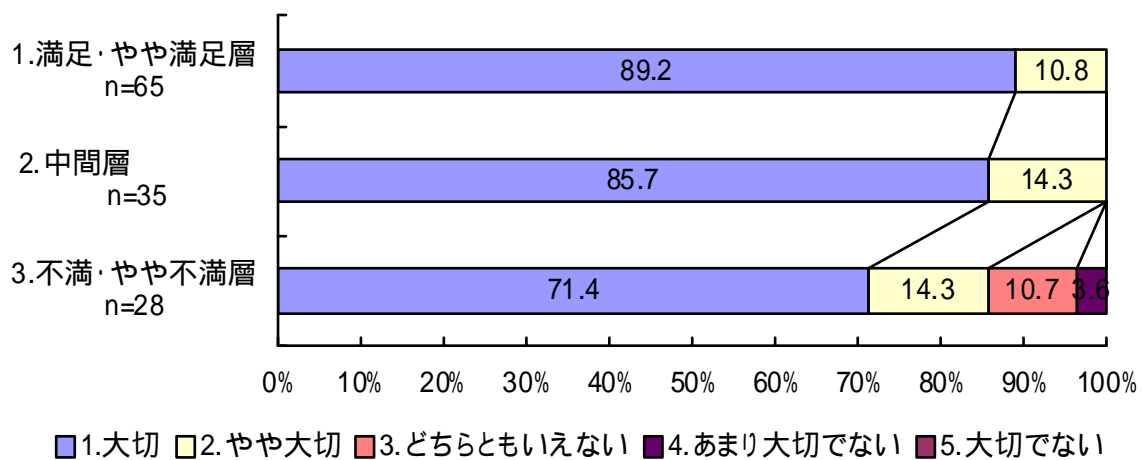


生活満足度とサークル・部活人間関係重視度について3グループ間の 2乗検定では $p = 0.159$ で有意差はみられなかった。相関係数は -0.051 である。従ってサークル・部活人間関係の重要視度合いが生活満足度に影響する可能性は小さいと考えられる

(3) 友人関係

生活満足度3グループ別の友人関係の重要視度合いを見ていく。
友人関係の重視度合いを「大切」～「大切でない」まで5段階で回答してもらい、結果を生活満足度3グループ別に集計した図が下記の図2-10-3である。

図2-10-3 生活満足度と友人関係重視度
(2乗: $p=0.018$)



生活満足度と友人関係重視度について3グループ間の 2乗検定では $p = 0.018$ で有意差がみられた。相関係数は 0.273 である。従って友人関係の重要視度合いは、生活満足度に影響を与える要因であるといえる。

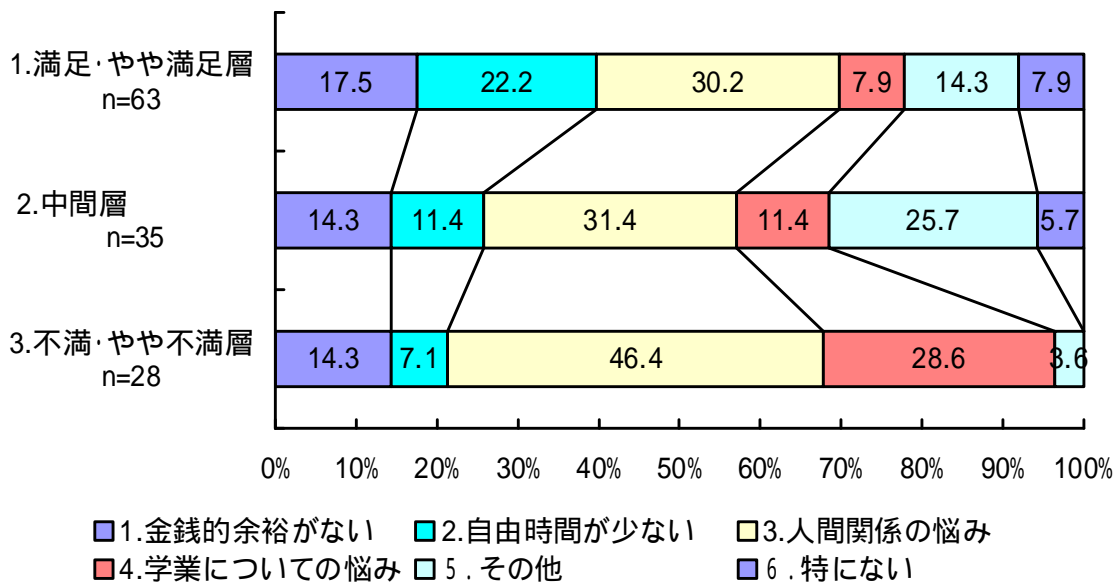
友人を大切に考えている人ほど生活満足度は高いといえる。

補足

生活の満足度と、学生のストレス・悩み

「あなたがストレスを感じる原因として、最も当てはまるものはどれですか」という設問に、「金銭的余裕がない」、「自由時間が少ない」、「人間関係の悩み」、「学業についての悩み」、「その他」、「特にない」の中から1つを回答してもらった。その結果を、生活の満足度別に集計した図が下記の図である。

図 生活満足度とストレス・悩みの原因
(2乗: $p=0.043$)



「自由時間が少ない」という回答の割合が最も多かったのは、満足・やや満足層であった。
「学業についての悩み」という回答の割合が最も少ないのは、満足・やや満足層であった。
「人間関係の悩み」という回答の割合が最も多かったのは、不満・やや不満層であった。

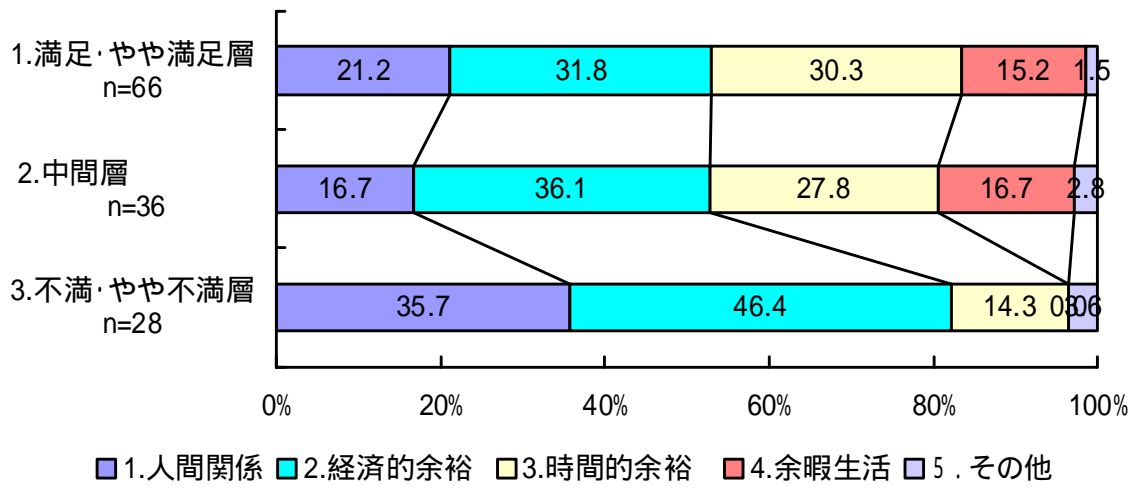
生活の満足度を上げるために充実させたい事柄

「あなたが生活の満足度を上げるために、充実させたい事柄はどれですか」という設問に、「人間関係」、「経済的余裕」、「時間的余裕」、「余暇生活」、「その他」の5つの中から1つ選択してもらい回答を得た。

結果を、生活の満足度3グループ別に集計した図が下記の図である。

「人間関係」という回答の割合が最も多かったのは、不満・やや不満層であった。
「時間的余裕」、「余暇生活」という回答の割合は不満・やや不満層では、他の2グループと比べて少ない結果となった。

図 生活満足度と充実させたい事柄
 (2乗: p=0.222)



第3章 まとめと今後の課題

3.1 調査のまとめ

今回の調査で、生活満足度との関連を検証した項目の一覧を下記の総括表にまとめる。

2乗検定値 p は0に近いほど生活満足度に与える影響が強い要因である。相関係数は大きい程に生活満足度に与える影響が強い要因である。 n は回答者の人数である。

まず調査項目を<各種状況>、<性格>、<心がけ>の3つに分類した。次に p の値と相関係数の値の分布を概観し、 p が0.0台にあり、相関係数が0.3より大きい要因、 p が0.0台にあるが、相関係数が0.1台の要因、その他、に3区分した。

<各種状況>

p が0.0台で相関係数が0.3より大きい場合

	2乗値 p	相関係数	n
Q21. 将来の見通し	0.013	0.371	130
Q20a. 予定多寡状況	0.003	0.344	127
Q3sq1. 恋人との関係状況	0.056	0.337	34
Q12. 大学学習成果の満足状況	0.005	0.302	129

これら4つの状況は生活満足度と特に関連が強く表れた項目である。将来に対して悲観的になってしまっている人の生活満足度が低いことがわかった。予定が詰まっている人の方が生活満足度は高かった。そして、恋人との関係が順調な人、大学の学習成果の満足度が高い人も生活の満足度は高かった。

p が0.0台で相関係数が0.1より大きい場合

	2乗値 p	相関係数	n
Q9. 金銭的余裕状況	0.369	0.181	129
Q11. 進級・卒業の見通し	0.109	0.158	129
Q4sq1 友人との関係状況	0.509	0.140	128
Q7. 家族との関係状況	0.613	0.140	129

次に、上記4つの項目は2乗検定において有意差はみられなかった項目であるが、上記の次のレベルで生活満足度に影響を与える要因であるといえる。

その他

	2乗値 p	相関係数	n
Q2sq2. 部活人間関係状況	0.780	0.058	72
Q13. 時間的余裕状況	0.922	-0.048	129
Q1sq1 バイト先人間関係状況	0.740	0.022	93

上記の3つの項目は、生活の満足度に影響を与える要因ではないかと考え、調査した項目であるが、結果は生活満足度に影響を与えていないことがわかった。時間的な余裕がある人ほど生活

満足度は高いのではないかと考えていたが、調査の結果では時間的な余裕があっても生活の満足度は高くないことがわかった。むしろ予定が適度に詰まっている人ほど生活の満足度は高かった。人間関係の状況では、アルバイト先とサークル・部活関係の人間関係の状況は生活満足度に影響を与えないことがわかった。

< 性格 >

	2乗値 p	相関係数	n
Q17. 性格の積極性	0.002	0.307	129

上記の性格の積極性を調べた項目は、他の項目とは異なり、現在の生活の状況がどのようなかではなく、学生自身の性格の違いが生活満足度に影響を与えるということがわかった。調査の結果では、積極的な性格の人ほど、生活満足度が高ということがわかった。

< 心がけ >

	2乗値 p	相関係数	n
Q4sq2. 友人関係重視度	0.018	0.273	128
Q1sq2. バイト先人間関係重視度	0.243	0.180	93
Q2sq3. 部活人間関係重視度	0.159	-0.051	73

人間関係の考え方について、アルバイト先、サークル・部活関係では生活満足度との関連が見られなかったが、友人関係の重視度には関連が見られた。ポリシーとして友人を大切にしたいと考えている人ほど、生活の満足度が高いということである。

調査の結果わかったことを下記に列挙する。

将来の見通しが明るいことは生活の満足度を高める。

予定が詰まっている状況は生活の満足度を高める。

恋人との良好な関係は生活の満足度を高める。

大学の良好な学習成果は生活の満足度を高める。

積極的な性格は生活の満足度を高める。

現在の良好な人間関係よりも、ポリシーとして友人を大切に考えることが生活の満足度を高める。

金銭的余裕や時間的余裕は、上記ほどには生活の満足度を高めるわけではない。

全体的に言えば、前向きで積極的に生活し、友人や周囲の人々との人間関係を大切にしようと思いがけることが、生活の満足度を向上させるという結果である。

3.2 今後の課題

生活満足度を左右する要因として、ある程度の枠組が見えてきているが、有力な要因に注目し、さらに類似の調査項目を考案して再度調査を行えば、より詳細な成果が得られると考えられる。

<参考文献リスト>

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール2008年度調査研究論文

津野 哲生 「大学生の生活と健康の調査」

山岸さやか 「大学生のストレス状況」

内野涼介 「不安に駆られて生活する大学生たち」

内閣府 世論調査報告書 平成21年6月調査 「国民生活に関する世論調査」

<http://www8.cao.go.jp/survey/h21/h21-life/index.html>

生活の満足度に関する調査 単純集計結果

2009.11

情報学部 広報学科 ハツ橋ゼミ 木村祐介

卒業研究のための調査です。無記名ですので、率直にお答えください。

問1 あなたの1ヶ月のアルバイト収入はどれくらいですか。(1つに) n = 133

1. 2万円未満	1.5	2. 2~4万円未満	17.3	3. 4~7万円未満	34.6
4. 7~10万円未満	14.3	5. 10万円以上	3.8	6. アルバイトはしていない	問2へ27.8
					無回答0.8

付問1 アルバイト先の人間関係については、いかがですか。(1つに) n = 96

1. うまく	2. ややうまく	3. どちらとも	4. あまりうまく	5. うまく	
いっている	いっている	いえない	いっていない	いっていない	
41.7	39.6	11.5	5.2	1.0	
					無回答1.0

付問2 あなたにとって、アルバイト先の人間関係は、どの程度大切ですか。(1つに) n = 96

1. 大切	2. やや大切	3. どちらとも	4. あまり大切	5. 大切	
である	である	いえない	でない	でない	
36.5	42.7	15.6	3.1	1.0	
					無回答1.0

問2 あなたは現在、サークルや部活動に所属していますか。(1つに) n = 133

1. している	56.4	2. していない	問3へ42.9	無回答0.8
---------	------	----------	---------	--------

付問1 活動の頻度はどの程度ですか。(1つに) n = 76

1. 週1~2回	63.2	2. 週3~4回	7.9	3. 週5~6回	1.3	4. 毎日	5.3	5. その他	19.7
									無回答2.6

付問2 サークルや部活の人間関係については、いかがですか。(1つに) n = 76

1. うまく	2. ややうまく	3. どちらとも	4. あまりうまく	5. うまく	
いっている	いっている	いえない	いっていない	いっていない	
38.2	36.8	18.4	1.3	2.6	
					無回答2.6

付問3 あなたにとって、サークルや部活の人間関係は、どの程度大切ですか。(1つに) n = 76

1. 大切	2. やや大切	3. どちらとも	4. あまり大切	5. 大切	
である	である	いえない	でない	でない	
57.9	27.6	11.8	1.3	0.0	
					無回答1.3

問3 あなたは現在、恋人はいますか。(1つに) n = 133

1. いる	27.1	2. いない	問4へ72.2	無回答0.8
-------	------	--------	---------	--------

付問1 恋人との関係については、いかがですか。(1つに) n = 37

1. 順調	2. やや順調	3. どちらとも	4. やや不調	5. 不調	
である	である	いえない	である	である	
51.4	32.4	8.1	2.7	2.7	
					無回答2.7

問4 大学以外も含めて、あなたの親しい友人の数は何人ですか。(1つに) n = 133

1. いない	3.8	2. 1人~3人	10.5	3. 4~6人	33.1	4. 7~9人	19.5	5. 10人以上	30.8
									無回答2.3

付問1 友人との人間関係については、いかがですか(1つに) n = 133

1. うまく	2. ややうまく	3. どちらとも	4. あまりうまく	5. うまく
いっている 54.1	いっている 36.1	いけない 6.0	っていない 0.8	っていない 1.5

無回答 1.5

付問2 あなたにとって、友人との人間関係はどの程度大切ですか。(1つに) n = 133

1. 大切	2. やや大切	3. どちらとも	4. あまり大切	5. 大切
である 82.7	である 12.0	いけない 3.0	でない 0.8	でない 0.0

無回答 1.5

問5 あなたの世帯状況は次のうちどれですか。(1つに) n = 133

1. 1人暮らし 52.6	2. 実家暮らし 42.9	3. その他 3.8	無回答 0.8
---------------	---------------	------------	---------

問6 あなたは、一人暮らしと、実家暮らし、どちらが好きですか。(1つに) n = 133

1. 一人暮らしの方が好き 32.3	2. 実家暮らしの方が好き 32.3	3. わからない 33.8
--------------------	--------------------	---------------

無回答 1.5

問7 家族との人間関係については、いかがですか。(1つに) n = 133

1. うまく	2. ややうまく	3. どちらとも	4. あまりうまく	5. うまく
いっている 58.6	いっている 24.1	いけない 12.8	っていない 3.0	っていない 0.8

無回答 0.8

問8 あなたが1ヶ月の中で、生活費を除いて自由に使えるお金はいくらありますか。(1つに) n = 133

1. 1万円未満 6.8	2. 1~3万円未満 42.1	3. 3~5万円未満 33.8
4. 5~7万円未満 12.8	5. 7万円以上 3.0	無回答 1.5

問9 あなたは生活において、金銭的余裕がある方だと思いますか。(1つに) n = 133

1. ある方だ	2. やや	3. どちらとも	4. あまり	5. ない方だ
9.0	ある方だ 21.8	いけない 27.1	ない方だ 24.1	17.3
無回答 0.8				

問10 あなたのお金の使い道のうち、余裕分は何に多く使いますか。(1つに) n = 133

1. 欲しいものを買う 48.1	2. 交遊費に使う 27.8	3. 貯金をする 19.5	4. その他 3.8
------------------	----------------	---------------	------------

無回答 0.8

問11 あなたは大学の進級・卒業について、見通しはいかがですか。(1つに) n = 133

1. 順調	2. やや順調	3. どちらとも	4. やや困難	5. 困難
である 23.3	である 30.1	いけない 29.3	である 9.0	である 7.5

無回答 0.8

問12 あなたは、今までに大学で学んだ事について、満足感はいかがですか。(1つに) n = 133

1. 満足感	2. やや満足感	3. どちらとも	4. あまり	5. 満足感
がある 8.3	がある 27.8	いけない 34.6	満足感はない 23.3	はない 5.3

無回答 0.8

問13 あなたの生活で時間的余裕は、どの程度ありますか。(1つに) n = 133

1. かなりある 23.3 2. すこしある 45.1 3. あまりない 27.1 4. まったくない 3.8

無回答 0.8

問14 あなたは次のうち、どの時間を優先したいですか。(1つに) n = 133

1. 友人との付き合い時間 24.1 2. 自分の時間 61.7 3. 家族との時間 3.8 4. 恋人との時間 9.8

無回答 0.8

問15 あなたは、友人・知人と1日平均どのくらい電話の受発信をしますか。(1つに) n = 133

1. 0回 31.6 2. 1~3回 56.4 3. 4~6回 8.3 4. 7~9回 1.5
5. 10~12回 0.8 6. 13~15回 0.8 7. 16回以上 0.8 無回答 0.8

問16 あなたは、友人・知人と1日平均どのくらいメールを受発信しますか(1つに) n = 133

1. 0通 8.3 2. 1~5通 45.9 3. 6~10通 28.6 4. 11~15通 6.0
5. 16~20通 2.3 6. 21~25通 2.3 7. 26~30通 3.0 8. 31通以上 3.0

無回答 0.8

問17 あなたの性格について、あてはまるのはどれですか。(1つに) n = 133

1. 積極的 6.8 2. やや積極的 36.1 3. やや消極的 43.6 4. 消極的 12.8

無回答 0.8

問18 趣味は、どの程度ありますか。(1つに) n = 133

1. 5つ以上ある 10.5 2. 4つある 10.5 3. 3つある 25.6
4. 2つある 21.1 5. 1つある 15.8 6. 趣味といえる趣味はない 15.8

無回答 0.8

問19 あなたがストレスを感じる原因として、最も当てはまるものはどれですか。(1つに) n = 133

1. 金銭的余裕がない 16.5 2. 自由時間が少ない 15.0 3. 人間関係の悩み 32.3
4. 学業についての悩み 13.5 5. その他 14.3 6. 特にない 5.3

無回答 3.0

問20 次のA~Dの各項目の中で当てはまる割合を教えてください。(それぞれ1つに) n = 133

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえぬ	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
A. 予定が何も無い日は少ない	26.3	19.5	21.8	15.8	14.3	2.3
B. 友人は多い方だ	12.0	17.3	41.4	22.6	5.3	1.5
C. 人付き合いによって自分の時間が少ない	7.5	17.3	31.6	30.1	11.3	2.3
D. スケジュールはできるだけ埋めたい	15.0	24.1	23.3	17.3	18.0	2.3

問21 あなたの将来についての見通しはいかがですか。(1つに) n = 133

1. 楽観視している 13.5 2. やや楽観視している 21.1 3. どちらともいえぬ 24.8 4. やや悲観視している 26.3 5. 悲観視している 12.0

無回答 2.3

問 2 2 あなたは、現在の生活にどの程度満足していますか。(1 つに) n = 1 3 3

1 . 満足 8.3 2 . やや満足 41.4 3 . どちらともいえない 27.1 4 . やや不満 17.3 5 . 不満 3.8

無回答 2.3

問 2 3 あなたの生活で、各項目についてはどの程度満足していますか。

次の A ~ D の各項目の中で当てはまる割合を教えてください。(それぞれ 1 つに) n = 1 3 3

	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
A . 人間関係全般	16.5	43.6	26.3	9.0	1.5	3.0
B . 経済的余裕	3.8	13.5	33.1	35.3	11.3	3.0
C . 時間的余裕	3.8	26.3	36.1	26.3	4.5	3.0
D . レジャー・余暇生活	8.3	38.3	31.6	18.0	0.8	3.0

問 2 4 あなたが生活の満足度を上げるために、充実させたい事柄はどれですか。(1 つに) n = 1 3 3

1 . 人間関係 22.6 2 . 経済的余裕 35.3 3 . 時間的余裕 25.6 4 . 余暇生活 12.0 5 . その他 2.3

無回答 2.3

最後にあなたご自身について伺います。

F 1 性別 n = 1 3 3

1 . 男 39.1 2 . 女 58.6 無回答 2.3

F 2 あなたの学年 n = 1 3 3

1 . 1 年 15.0 2 . 2 年 28.6 3 . 3 年 44.4 4 . 4 年 9.8

無回答 2.3

F 3 あなたの学科 n = 1 3 3

1 . 広報学科 97.0 2 . 経営情報学科 0.0 3 . 情報システム学科 0.0
4 . 国際コミュニケーション学科 0.0 5 . 国際関係 0.8 6 . 健康栄養学科 0.0

無回答 2.3

F 4 あなたの血液型 n = 1 3 3

1 . A 型 33.1 2 . B 型 20.3 3 . O 型 32.3 4 . A B 型 6.8 5 . わからない 5.3

無回答 2.3

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。